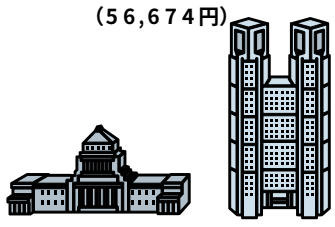
三鷹市の財政状況をお知らせします

平成１８年度一般会計の歳入・歳出決算の状況

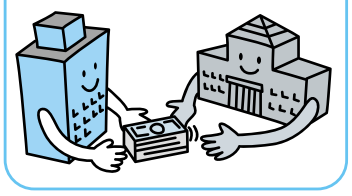
歳　入
553億5,935万円
[－2.2%]
（314,685円）

市　税
みなさんからお預かりした税金
339億5,602万円
[＋3.0%]
（193,020円）

国・都支出金
使い方が定められている国・都からの負担金・補助金
99億7,022万円
[－6.2%]
（56,674円）



各種交付金
使い方が定められていない国・都からの交付金など
51億9,500万円
[－0.9%]
（29,530円）



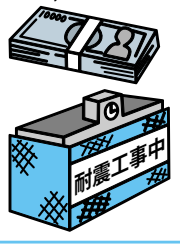
年度末の財政状況

●歳入歳出差引額
19億9,082万円
（前年度比＋27.4%）
⇒平成19年度へ繰り越し

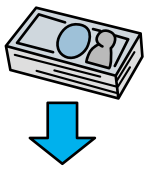
●基金（貯金）の残高
93億8,744万円
（前年度比＋14.5%）
（市民1人当たり　53,362円）

●市債（借入金）の残高
425億8,017万円
（前年度比－4.0%）
（市民1人当たり　242,043円）

市　債
建設事業などのための借入金
18億3,760万円
[－25.7%]
（10,446円）

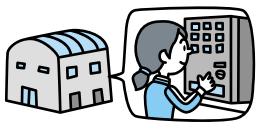


繰越金
前年度決算の剰余金
15億6,228万円
[＋3.3%]
（8,881円）

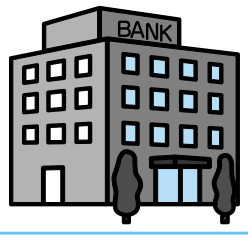


平成19年度

使用料・手数料 分担金・負担金
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただいた収入
12億7,753万円
[－7.4%]
（7,262円）



繰入金
基金（貯金）のとりくずしなど
1億6,872万円
[－75.5%]
（959円）



その他
寄附金や財産売払収入など
13億9,198万円
[－18.7%]
（7,911円）

※［　］内は平成18年度と平成17年度の決算を比較した増減の率です。
※（　）内は、平成19年3月31日現在の三鷹市の人口（175,920人）で割った市民1人当たりの金額です。

平成１８年度に実施した主な事業

※「平成18年度各会計決算概要」より抜粋

平成18年度は、高環境・高福祉に向けて「安全安心のまちづくり」「地域ケア推進」「バリアフリーのまちづくり」「子ども・子育て支援」「協働のまちづくり」「ITの活用」の6つのプロジェクトを最重点に取り組む課題として、各事業の展開を図りました。

平成18年度に実施した新規・拡充事業のうち、主なものは次のとおりです（金額は決算額）。

安全安心のまちづくりプロジェクト
～すべての人が心安らかに暮らせるまちづくり～

- ○「ファシリティ・マネジメントの推進に関する方針」の策定に向けた調査・検討　1,800万7,500円
- ○授業中や登下校時の児童の安全を守るため、市立小学校全15 校に学校安全推進員を配置　3,225万2,439円
- ○「三鷹市公共施設アスベスト対策基本方針」に基づき、アスベスト除去工事を実施　5,695万4,500円
- ○都市型水害対策として、雨水管などを整備　1億9,173万8,008円
- ○第五小学校・中原小学校の耐震補強工事を実施　1億2,611万1,427円

地域ケア推進プロジェクト
～いつまでも元気で心ゆたかに生活できるまちづくり～

- ○井の頭地区で「高齢者等地域ケアサポート推進モデル事業」を実施　502万184円
- ○地域包括支援センターを開設　8,000万円
- ○障害者自立支援法に基づき、障がい福祉計画を策定　493万4,582円
- ○障がい者就労支援センター「かけはし」を設置　390万7,037円

バリアフリーのまちづくりプロジェクト
～すべての人がいきいきと暮らせるまちづくり～

- ○JR三鷹駅と京王井の頭公園駅のエレベーターなどを整備　1億6,263万3,000円
- ○「ベンチのあるみちづくり整備計画」に基づき、ほっとベンチを設置　909万3,000円
- ○緊急整備方針に基づき、市道第135号線にバリアフリーに配慮した歩道を整備　7,429万7,236円
- ○市道第410号線の歩道を整備し、市道第139号線、市道第142号線などの舗装工事を実施　1億1,881万5,900円

子ども・子育て支援プロジェクト
～健やかに育ち笑顔がきらめくまちづくり～

- ○幼児教育機能を強化した保育園施設「ちどりこども園」を整備　1億6,841万4,972円
- ○公設民営方式の大沢台保育園を開設　9,100万3,000円
- ○「三鷹市教育ビジョン」を策定　17万6,400円
- ○小・中一貫教育のモデル校として、にしみたか学園を開設　1,376万2,682円
- ○絵本館（仮称）の先行事業として、市民協働企画事業などを実施　712万6,744円

協働のまちづくりプロジェクト
～ともに信頼し責任を担うまちづくり～

- ○自治基本条例の普及・啓発のため、広報特集号やハンドブックを発行　562万1,920円
- ○三鷹ネットワーク大学の教育・学習講座を充実するとともに、研究・開発事業を推進　8,863万8,883円
- ○32番目の地区公会堂として、大沢下原地区公会堂を開設　119万4,594円
- ○花と緑の市民活動を支援する新たな組織のあり方を検討　874万3,003円
- ○大沢の里と周辺地域の保全・活用に向けた調査研究を市民などと協働で実施　161万1,098円

ITの活用プロジェクト
～いのち・しごと・くらしが輝くまちづくり～

- ○庁内の地図情報を一体化した統合型地理情報システム（GIS）の導入に向けた検討　555万円
- ○市議会内のLAN整備により、市議会ネットワークシステムを構築　535万8,727円
- ○老朽化した生涯学習情報システムの更新に併せ、スポーツ情報予約管理システムを導入　872万862円
- ○情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の運用部署の拡大　813万2,610円

基本計画における重点プロジェクト事業など

- ○みたか都市観光協会の設立を支援　433万4,000円
- ○三鷹都市計画道路3・4・13 号線用地を取得　1億9,648万5,710円
- ○「緑と水の回遊ルートサイン整備計画（仮称）」を検討　509万2,500円
- ○機械式立体地下駐輪場のすずかけ駐輪場を整備　5億3,994万1,400円
- ○市庁舎などでISO14001を取得　750万802円
- ○第二体育館に、スポーツ相談員を配置した健康・体力づくり相談室を開設　1,456万4,892円

平成１９年度上半期の財政状況

平成19年度は、第3次基本計画（改定）に掲げる6つの最重点プロジェクトを中心にしながら、特に「ファシリティ・マネジメントの確立」、「三鷹市独自のセーフティーネットの確立」、「次世代を担う子どもたちの成長を支え、子育て世代を支援する環境整備と教育の充実」、「自治体経営改革の推進と新たな協働のしくみづくり」という4つの方向性を重視して各事業の展開を図っています。

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	567億2,798万円	280億4,106万円	49.4%	237億　871万円	41.8%
国民健康保険事業特別会計	159億3,093万円	69億9,729万円	43.9%	67億6,992万円	42.5%
下水道事業特別会計	43億9,020万円	10億1,778万円	23.2%	13億2,570万円	30.2%
老人医療特別会計	121億5,626万円	50億4,778万円	41.5%	47億9,573万円	39.5%
介護サービス事業特別会計	12億6,287万円	4億5,195万円	35.8%	6億2,669万円	49.6%
介護保険事業特別会計	85億9,960万円	42億　606万円	48.9%	33億5,803万円	39.0%
受託水道事業特別会計	28億1,381万円	12億1,280万円	43.1%	7億8,233万円	27.8%
合　計	1,018億8,165万円	469億7,472万円	46.1%	413億6,711万円	40.6%

市有財産の概況

（平成19年9月30日現在）

平成18年度末と比較して、市有物件では、土地が991.41㎡増加、建物が10.17㎡増加しています。

土　地
市有物件／728,309.16㎡
借用物件／　47,556.45㎡
合　計／775,865.61㎡

建　物
市有物件／303,635.46㎡
借用物件／　5,475.38㎡
合　計／309,110.84㎡

車　両
合　計／110台
※借用車両を含む